



展示室内の情報コーナー(左)とハイカーズラウンジ。館内にはシャワー室や洗濯室もある

みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター

MICHINOKU COASTAL TRAIL NATORI TRAIL CENTER

東北の魅力をつなぐ 長距離自然歩道の拠点施設

みちのく潮風トレイルは、青森県から福島県まで4県28市町村の沿岸部をつなぐ1,000kmを超えるロングトレイル(長距離自然歩道)で、自然や文化、くらしに触れながら歩くことができる。環境省は東日本大震災後、被災した太平洋岸の自然の復興に貢献する「グリーン復興プロジェクト」を進めており、そのひとつとして自治体や民間団体、地域住民も協働してトレイルのルートを設定。2019年6月に全線が開通した。宮城県の名取トレイルセンターでは、トレイル上のサテライト施設と連携し、トレイル全線の情報をハイカーに提供するほか、展示室などもハイカーに限らず利用可能。歩く文化の発信に加え、ハイカーと地域住民の交流も進められる。



サンルーム。前面に広がる庭にキャンプ場が開設される



実習室。ハイカーがトレイルを歩いた際に摂った食事の体験イベントも開催された



名取トレイルセンター

所在地／宮城県名取市関上
事業主／環境省
設計／株式会社ニュージェック
施工／阿部建設株式会社
オープン／2019年4月

主な納入設備

- LED照明器具

ウェブサイトでも
ご覧いただけます



かわまちてらす関上

KAWA MACHI TERASU YURIAGE

にぎわいで関上のまちをてらす 名取川沿いの商業施設

宮城県名取市関上地区は水辺のまちとして発展してきたが、東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた。復興にあたり名取市は「まちなか再生計画」を策定。国土交通省が名取川沿いで進める親水空間の整備・活用計画「かわまちづくり計画」との連携により、名取市と民間事業者が出資するまちづくり会社が商業施設「かわまちてらす関上」を堤防側帯上に整備した。飲食や物販など26店舗がかつての商店街のように集まり、2019年4月にオープン。被災事業者の店舗再建の場や、新しいにぎわい拠点として交流が進んでいる。今後もイベントの実施や、関上地区の他施設との間を結ぶ巡回バス・タクシーの導入が検討され、一層の集客が図られる。



店舗内に設置されたLED照明器具



かわまちてらす関上

所在地／宮城県名取市関上
事業主／株式会社かわまちてらす関上
設計／針生承一建築研究所
建築工事／株式会社阿部和工務店
オープン／2019年4月

主な納入設備

- LED照明器具
- LED街路灯
- 空調設備

ウェブサイトでも
ご覧いただけます

